



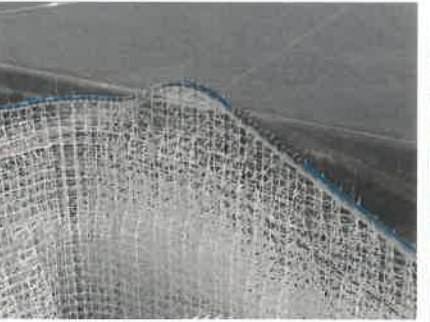
## 感謝の心を育んだ修学旅行



今年の修学旅行は、新型コロナウイルス感染症によって、行けるかどうかというところからのスタートとなりました。日程や行先など、当初の計画を大きく変更しなければなりません。様々な行事や活動が中止となる中、それでも何とか実施できないだろうか、何度も計画を立て直しました。3年生の思いを校長先生が受け止めましたが、それだけでは実施できません。県の方針や市長さん、各務原市教育委員会、旅行社、受け入れ先の施設、保護者の皆さんの思い、先生方の思い、そしてコロナ対策などなど、本当に多くのことが一つにならないと実施できないのです。

3年生の皆さんは、これまで以上に学校や家庭でのコロナ対策を徹底してきました。先生方も受け入れ先施設の対策を細かく調べました。校長先生も様々な機関に連絡して調べたり、足を運んで尽力されました。険しい道のりではありましたが、その結果、様々な人たちの思いがひとつになり、修学旅行の実施に至ったのです。

主任の細江先生が学年集会で3年生の皆さんに、『感謝の気持ちをもちましょう。そして様々な努力に対して応えていきましょう。』と話されました。これは修学旅行だけではなく、いろんな行事や活動にも同じことが言えるのではないかと感じました。活動の原点を改めて感じた修学旅行でした。



今回私達の修学旅行のため、市長様に色々な所で支えていただきました。稲羽中は3年生全員で100人程しかいないにも関わらず、コロナ対策のためバスを5台も出して頂いたり、応援のメッセージを伝えてくださったりしたことを校長先生や学年主任の先生から聞きました。その話を聞いて「私達がこの大変な時期に安心して修学旅行に行くことができたのは、市長様やたくさんの方々のおかげ」だということに気付きました。本当に充実した修学旅行になりました。ありがとうございます。今回の修学旅行では、例年のように東京に行って、色々な職業の方にお話を聞いたり、ディズニーランドで楽しんだりすることが出来なくてすごく残念でした。でも、例年のような華やかな事ができなくても、学べた事は東京よりも多かったと私は思っています。

それは、コロナ対策のために私達を支えてくださった全ての方々優しい心です。鳥羽水族館では常に密にならないよう声をかけるスタッフの皆さん、旅館では少しでも感染のリスクが下がるように食事の時間も工夫して料理を配ってくださった戸田家の皆さん、長島スパランドでは毎回丁寧にアトラクションの座席を消毒して下さる係員の皆さん・・・ひとつひとつ挙げたらきりがなくらい、この2日間でお客さんに安心して楽しんでもらえる